



1. 野球部通信を始めます — 発刊にあたって

このたび、野球部では、野球部通信『球學道 —野球から、人生を学ぶ—』を発刊することといたしました。日々、選手たちと接する中で、私たち指導者は、技術の向上や試合の勝敗だけを考えて指導しているわけではありません。高校野球という限られた3年間を通して、自ら考え、努力し、困難に向き合い、周囲への感謝を忘れず、次の人生を力強く歩んでいける人間に成長してほしい。そのような思いを持って、一人ひとりの選手と向き合っています。

しかし、日々の指導の中で「なぜ今、この言葉をかけるのか」「なぜこのような指導をするのか」という指導者の思いや意図は、選手を通してだけでは、ご家庭へ十分にお伝えできないこともあります。そこで本通信では、活動予定だけではなく、私たちが選手たちに何を伝え、何を身につけてほしいと考えているのか、そして、日々の練習や学校生活の中で見られる選手たちの成長についてもお伝えしていきたいと思います。『球學道』が、方谷學舎高校野球部の目指すものや指導者の思いを、保護者の皆様と共有する一つの架け橋となれば幸いです。

2. 私たちが目指す「方谷學舎高校野球部」とは

試合に勝つために技術を磨き、身体を鍛え、一球にこだわる。その姿勢は、高校野球に取り組む上で欠かすことのできないものです。しかし、私たちが目指しているのは、勝つことや野球が上手になることだけではありません。高校野球の3年間を通して、「社会で必要とされる人間を育てること」を何より大切にしています。そのため、選手たちには特に次の3つを伝えています。

- ・応援される人としての振る舞いを身につけよう
- ・今を懸命に生き、未来を変える人になろう
- ・礼儀礼節を大切に、感謝の気持ちを伝えられる人になろう

野球ができることは決して当たり前ではありません。家族、仲間、先生方、地域の方々など、多くの人の支えがあって成り立っています。そのことに気づき、感謝を言葉や行動で表すことのできる人になってほしいと思っています。また、野球では思い通りにならないことがたくさんあります。だからこそ、目の前のことから逃げず、「今、自分にできること」に懸命に取り組む姿勢を身につけてほしい。それは必ず、卒業後の人生を支える力になるはずです。

そして、これは選手だけに求めていることではありません。私たち指導者自身も、まだまだ不十分です。選手に成長を求める以上、指導者も学び、振り返り、ともに成長していかなければと日々感じています。

3. 1年生・2年生・3年生 — 成長に合わせた指導や関わり方

保護者の方から、「学年によって、生徒によって指導者の関わり方や対応が違うのではないか」という声をいただくことがあります。大切なお子様を預けていただいているからこそのご意見であり、私たちも真摯に受け止めています。その上で、私たちが大切にしている考えをお伝えしたいと思います。

1年生・2年生・3年生では、成長段階も、チームでの立場も、これから求められることも違います。そのため、すべての選

手に同じ関わり方をするのではなく、その時期、その選手に必要な指導をすることを大切にしています。例えば1年生には、高校野球の土台となる学校生活を含めた生活習慣や礼儀、練習に取り組む姿勢を。2年生には、1年生同様学校生活を含めた生活習慣や礼儀に加え、練習に取り組む姿勢チームの中心となる自覚と、自ら考えて行動する力を。そして3年生には、最上級生としての責任とともに、引退後や卒業後を見据えた自立を求めています。また、同じ学年でも一人ひとり成長の速さや課題は違います。厳しく伝えることもあれば、あえて見守ることもあります。声をかけ続けることもあれば、自分で考えさせるために少し距離を置くこともあります。

「同じように接すること」ではなく、「一人ひとりの成長に必要な関わりをすること」。

それが、私たちの考える指導です。もちろん、指導者も日々振り返りながら、より良い関わり方を考え続けていきます。高校野球の3年間だけではなく、その先の人生で自分の力で歩んでいける人に育てることを目指し、一人ひとりと向き合います。

4. 3年生へ — 引退後にこそ成長がある

夏の大会が終わり、3年生が高校野球を「引退」とすると、練習への参加が少なくなったり、学校生活の過ごし方が変わったりする高校もあると思います。しかし、本校野球部では、「引退したから指導も終わり」とは考えていません。むしろ、目標としてきた大会が終わった後、どのような姿勢で毎日を過ごすかに、本当の成長が表れると考えています。

そのため、3年生も可能な限り練習に参加し、生活習慣や学校生活についても、必要なことは卒業まで指導していきます。「他の高校ではどうしているか」ではなく、私たちは、**3年間をどう締めくくり、次のステージへどう送り出すか**を大切にしています。もちろん、進学や就職に向けた指導も責任を持って行っています。大学・就職など、進む道はそれぞれ違います。進路が決まるのがゴールではありません。次の場所で良いスタートを切り、そこで活躍できる人になることが大切です。野球を続ける選手には次のカテゴリーで戦える身体と技術を。新しい道へ進む選手には、社会で必要となる生活習慣や責任感、自立する力を身につけてほしいと思っています。3年生は、まだ高校生活を終えたわけではありません。まだまだ、これからです。

最後の大会が高校野球の終わりではなく、卒業するその日までを大切な成長の時間と考え、一人ひとりが胸を張って次のステージへ進めるよう、最後まで責任を持って向き合っていきます。



5. 秋から冬へ — 身体をつくることも練習である

秋から冬にかけては、試合の機会が少なくなる一方で、選手が身体的にも精神的にも大きく成長できる大切な時期です。春にどのような選手になっているかは、この冬をどう過ごすかで大きく変わります。しかし、日頃の生活に目を向けると、好き嫌いを理由に食堂で用意された食事を残してしまう生徒や、周囲から支えてもらっていることへの感謝を、まだ十分に言葉や行動で表せていない生徒も見受けられます。身体を鍛えるだけが成長ではありません。食事、挨拶、感謝、日々の生活への向き合い方も含めて、自分自身を成長させていくことが大切です。この冬を、グラウンドでの練習だけでなく、生活そのものを見つめ直し、人として一回り大きくなる期間にしてほしいと思います。

西郷隆盛の言葉に、「**雪に耐えて梅花麗し**」

という言葉があります。梅の花は、厳しい冬の寒さや雪に耐えた先に、美しい花を咲かせます。人の成長も同じではないでしょうか。苦しい練習、思うように結果が出ない時期、身体づくり、日々の生活。苦しい時期から逃げずに積み重ねた経験が、やがて大きな力となって表れます。これからの冬、選手たちにとって「厳しい」「つらい」と感じることもあると思います。そんな時こそ、保護者の皆様にも、すぐに苦しさを取り除くのではなく、「これは成長するための時間なんだ」「この冬を乗り越えれば、きっと成長できる」と背中を押していただければと思います。私たち指導者も、一人ひとりの様子を見ながら、この冬を選手とともに乗り越えていきます。厳しい冬があるからこそ、美しい花が咲く。春になった時、選手たちの成長を楽しみにしています。

6. うまくいかない時こそ、選手は成長する

高校野球では、すべての選手が思い通りに試合へ出られるわけではありません。試合に出られない、結果が出ない、思うように評価されない。そんな時期は、選手にとって苦しく、悔しいものだと思います。しかし、私たちは、**試合に「出る・出ない」だけで、その選手の成長や価値が決まるとは考えていません。**

秋季地区予選でも、本校は決して人数の多いチームではありませんので、試合中の守りの際にはベンチの中に選手が 4 名しかいない状況もありました。当然、グラウンドに立つ選手と、ベンチから試合を見つめる選手がいます。しかし、ベンチにいる時間にも大切な学びがあります。仲間のために声を出すこと、試合の流れを読み、自分に何ができるかを考えること。出場の準備を怠らないこと。そして、思うように試合に出られない悔しさと向き合いながら、それでもチームのために行動すること。こうした経験も、高校野球だからこそ得られる大切な成長だと考えています。

うまくいかない時にこそ、その選手の本当の姿が表れます。腐るのか、人や環境のせいにするのか、それとも自分に足りないものを考え、努力を続けるのか。思い通りにならない状況でどう振る舞うかは、その後の人生にもつながります。

保護者の皆様には、もちろん「試合に出てほしい」「活躍してほしい」という思いがあると思います。私たち指導者も、一人ひとりに活躍してほしいと願っています。だからこそ、目の前の出場機会や結果だけではなく、その過程で何を学び、どのように成長しているのかも一緒に見守っていただければと思います。

うまくいかない時こそ、成長のチャンスです。

7. 新しい仲間が加わりました — マネージャーとしてチームを支える

このたび、2 年生美容コースの松岡結音（まつおかゆのん）さんが、野球部のマネージャーとして新しく仲間に加わってくれました。美容コースのため毎日の参加ではありませんが、参加できる日は積極的に選手たちをサポートしてくれています。

夏の選手権大会では、開会式で本校のプラカードを持ってくれただけでなく、選手一人ひとり、そして指導者にまでお守りを作ってくれました。また、高梁運動公園での練習中にボールがグラウンド外へ出た際には、一生懸命に探してくれるなど、自分にできることを考え、率先して行動してくれています。野球部は、グラウンドでプレーする選手だけで成り立っているものではありません。**誰かのために動くこと、仲間を支えることも、チームにとって大切な力**です。

松岡さんの存在がチームに新しい力を与えてくれることに感謝するとともに、選手たちにも、支えてくれる人がいることを当たり前と思わず、「**ありがとう**」を言葉と行動で伝えられる人になってほしいと思います。松岡さん、これからよろしくお願いします！

8. 保護者の皆様とともに選手を育てる、Team 方谷學舎

保護者会も新しい体制となりました。これまで保護者会をまとめてくださった光岡さんをはじめ、3 年生の保護者の皆様には、長きにわたり野球部を支えていただき、本当にありがとうございます。選手たちが思い切り野球に取り組むことができたのも、保護者の皆様の支えがあってこそです。

新体制となり、荒井新会長とも、これからの野球部について様々なやり取りをさせていただいています。より良い野球部にしていくために、建設的に意見を交わしていただいていることを大変ありがたく感じています。また、日頃から食堂への多くの差し入れをはじめ、様々な場面で選手たちを支えていただいています。改めて、保護者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。選手を育てるのは、指導者だけでも、家庭だけでもありません。**選手・指導者・保護者がそれぞれの役割を果たし、同じ方向を向いて選手の成長を支えていくことが大切だ**と考えています。時には思うような結果が出ないことも、選手自身が悩み、苦しむこともあると思います。そんな時こそ、目先の勝敗や結果だけではなく、**卒業後、その先の人生まで見据えて、一緒に選手たちの成長を見守っていき**たいと思います。学校と家庭、そして野球部に関わるすべての方々が一つになって選

手を育てていく。「**Team 方谷學舎**」

これからも、保護者の皆様とともに、選手たちの成長を支えていければと思います。

9. 総監督から（小谷理事長）

いつも方谷學舎の教育活動にご理解ご協力をいただき心より感謝申し上げます。本校野球部は、学校隆盛の牽引車であり、野球部員は、「本校がめざす生徒像の象徴」であるべきだと考えています。「勝つことをめざす」ことを通して、「よりよく生きていく力を身につける」『野球道』の実践が、本校の野球部でなければならないと考えています。

つまり、「野球バカ」を廃し、「人格形成」に主眼を置いた教育活動が本校野球部の活動であり、学業でも、クラス経営でも学校行事においても常に「模範」であり、「リーダー」となりうる後ろ姿でなければならないのです。特に『特待生』として入学している生徒は、その使命を入学時に説明しているはずですから、その使命をしっかりと自覚するとともに学校や他の生徒をよりよい方向へと牽引していくリーダーになるべく自己研鑽しなければなりません。

そう考えると、各学年の差は顕著で、1.2 年生にはまだまだそうした自覚が伴わない生徒も多数。仮にその状態で勝てたとしても応援者が増えることはありません。

現代社会は、特に母親の男の子に対する溺愛も課題とされており、「男の子が『男』になれない日本」とも言われています。だからこそ、『方谷學舎の男は違う』という姿になってくれることをいつも願い、可能な限り応援し、時には厳しく、時には優しく指導を繰り返していきたいと思っています。

当然、「結果」も重要で、この度の秋の予選のレベルでの勝利など、特待生度のある学校としては「当然」であり、学校の浮沈を担う部活動として、その内容は、課題山積です。それでも、『人間力を磨く』方谷學舎の野球部は、勝敗の結果よりも、「人としてどうか」「よりよい習慣形成に向かっているか」を優先して、指導していきたいと考えています。なぜなら、人生は 18 歳から後の方がはるかに長いものであり、人生の勝負は「晩年の姿」にあるからだと考えています。

今後とも、ともに育ててまいりましょう。

10. 9月の主な予定

日程	内容
9 月 1 日 (火)	始業式
9 月 5 日 (土)	練習試合 VS 尼崎工業 @高梁運動公園 10:30 試合開始予定 (1 試合)
9 月 6 日 (日)	練習試合 VS 出雲高校・米子東高校 @鳥取県南部町営西伯カントリーパーク野球場 12:00 試合開始予定 (2. 3 試合目)
9 月 12 日 (土)	秋季地区予選 (1 位決定戦) VS 興譲館高校 @玉原球場 10:00 試合開始予定
9 月 16 日 (水)	県大会抽選会 @倉敷マスカットスタジアム会議室 15:30～
9 月 22 日 (火)	練習試合 VS 姫路西 @なりわ球場
9 月 30 日 (水)	文化祭準備

※高梁運動公園・学校グラウンドを中心に練習を行います。予定は学校行事、相手校、グラウンド状況等により変更となる場合があります。また、提出物が未提出の場合は練習に参加できません。野球だけでなく学校生活を大切にすることも、野球部として大切にしていることです。保護者のみなさまからもお声掛けをお願いいたします